

— 目 次 —

新しい年に思うこと・寺本広作 …… 9

<特集>

あすをひらく …… 12

★ 道路交通網の整備

- 1. 九州縦貫高速自動車道の建設 …… 12
- 2. 鹿児島本線の複線化、電化 …… 13
- 3. 新熊本空港の整備進む …… 15

★ 新しい臨海工業地帯

荒尾・長洲地区と八代地区の場合 …… 15

★ 水資源の開発

- 1. 緑川の総合開発 …… 26
- 2. 川辺川の総合開発 …… 28

★ 食糧供給基地めざして

- 1. 土地基盤の整備 …… 28
- 2. 果樹広域濃密生産団地 …… 30
- 3. 実動に入つた羊角湾地域の開発 …… 29
- 4. 大規模草地改良事業 …… 31
- 5. 高原地帯の農業開発 …… 31
- 6. 高遊原地域の農業開発 …… 32

★ 漁業の近代化進む

中核漁港の整備と沿岸漁業 …… 34

<ここに人あり>

肥後チャボ保存への熱意

根占 正嘉さん …… 25

★ 随 想 ★

井田峰月・中川正和・藤坂信子・梅沢信 …… 6・7・8

★ グラビアページ ★

風雪に耐えて・建設譜・県政ハイライトほか

★ センターカラー …… 雪の阿蘇 ★ 表紙 …… 鳩群



— 天草・大矢野島の花栽培 —

高原を走る蒸気機関車

冬は雪、春は花、自然の風景は移り変わるが、「デゴイチ」の愛称で呼ばれるD51型機関車はきょうも、矢岳高原のループ式鉄道を走っている。彼、が人吉機関区に配属されたのは昭和16年であった。日本でいちばん力の強い機関車として登場したのである。けん引力は1250トンというから、15トン貨車に荷物を満載して83両をひっぱることも可能。どえらい力の持ち主である。

矢岳トンネルで煤煙の一酸化炭素による事故があったため機関士は防毒マスクをかけての乗務である。懸命の作業である。時代を走り続ける「デゴイチ」も昭和50年ごろには、どうなるか、その運命は予測できないという。しかし彼はそのことを知っているかどうか。がんばれ「デゴイチ」——声援を心からおくりたい。手を振る子どもたちも、きっとそうであろう。

熊本県下には、熊本機関区13台、人吉機関区8台が配属されているという。



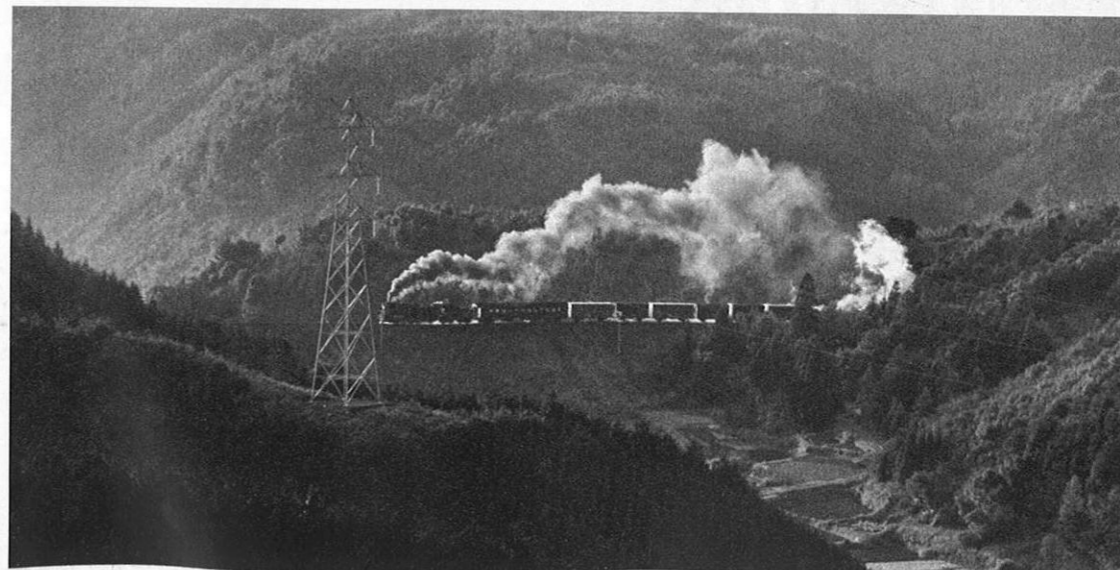
れい明の冬空。機関区を出発する「デゴイチ」



村はずれの踏切りで、いつもの子供たちと「お早よう」



トンネルが多いので機関士は防毒マスクをかけて…



峠から見おろす展望は格別。だが標高535メートル。かなりきびしい急こう配。「デゴイチ」も楽ではない。